

第10回議会報告会(2020)

議員と語る会

特集号



下沢畑公民館



どんがホール



西里農村環境改善センター



清延研修センター

～開かれた議会・町民と共にある議会を目指して～

発刊にあたって

河北町議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を目指し、第10回議会報告会を10月21日と22日の2日間、町内6か所で開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大、7月の豪雨災害によって甚大な被害が起きた困難な状況下の開催となりました。

議会報告会では新型コロナウイルス感染症対策、7月豪雨災害等多くの課題についてご意見が寄せられ、有意義な議会報告会となり感謝申し上げます。

報告会で出されました町政全般にわたるご意見、ご要望については議会で検討し、町長に申し入れをすることにしております。

今後とも、町民の皆様の声を大切に、議会としての役割を果たして参りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

河北町議会

議会運営委員会

町民に開かれた議会

町民の声を町政に

河北町議会は、10月21日と22日の2日間、各地区公民館を主会場に町内6か所で、第10回目となる「議員と語る会」を開催しました。参加していただいた皆様から、町に対するご意見・ご要望をいただき、それらをまとめましたので、ご報告いたします。

町に対する意見・要望

7月豪雨災害について

質 町内全域に避難指示が出された。

町 過剰な全域の避難指示ではなかったのか。

質 避難勧告や避難指示は、地域防災計画に基づき、気象条件や水位情報など総合的に判断して発令した。

質 土砂災害や小河川の氾濫の恐れもあり、また羽越災害時の最上川本流の水位を大きく超え、最上川堤防の決壊といった最悪の事態も想定し、町民の尊い生命を守るため、町内全域を対象とした。

質 地域ごとに合った、細かい避難指示や避難行動が必要ではなかったのか。

町 必ずしも避難所への避難に限るものではなく、難を避けるために自宅2階などの

高所へ移動することも今後、周知していく。

質 避難指示が遅かったのではないのか。

町 発令の地区やタイミングについては、改めて検証を行う。

質 自主防災会が機能しなかった。

町 名簿に名前はあるが、実際には動けない人が載っていた。

質 町として、活きた避難指導が必要と考える。

町 今後の対応は、個別計画書の作成は、自主防災会長と民生委員・児童委員に協力を依頼し、個別計画書作成の説明会を開催した。

質 記載内容の変更や修正があった場合は、町への報告も願います。

町 機能しなかった理由を点検し、今後は、地域支援者の変更など、個別計画書のメンテナ

ンスをしていく。

質 各区長に災害の情報が入るが、防災会長に伝達されていない。

町 今後の対応は、

質 町との連絡手段として緊急連絡無線機を貸与しており、災害時における連絡手段として活用している。

質 古佐川、法師川など支流氾濫の対策が必要だと思いが、築堤を含む今後の対応は。

町 町民の生命と財産を守り、安全で安心できる地域、くらしを実現する。

質 最上川築堤、支流河川の改修、排水・内水処理対策、流下能力向上の対策等の治水対策を緊急かつ着実に推進

できるよう、国・県・

避難所運営について

質 避難所での炊き出しを準備したものの、誰も取りに来なかった。

町 避難所運営に問題があったのでは。

質 災害発生時の炊き出しについて28日の夕食は、午後6時頃の避難者が1000人程度であり、スーパーやコンビニからの購入とアルファ化米による備蓄食料を準備し対応した。

質 午後10時頃の避難者数は1000人を超えていたので、29日の朝食は、大量に炊飯できるかまどを使用し、炊き出し対応を実施した。

町 しかし、避難者の多くは日の出とともに帰宅を開始し、炊き出しの準備ができた頃には自宅に戻られたため、大量に余ってしまっ

関係団体と連携し取り組んでいく。

主食のみの提供であり、副食が準備できなかったことも余った要因のひとつと思われる。このたびの反省を生かし、今後災害時の炊き出しの在り方について検討していきたい。

質 避難所受付名簿に、地区名を記載する欄がなかった。

区長が避難者を確認するために、必要では。

町の答 避難所における名簿等の作成については、コロナ対策として、濃厚接触者を特定するため、氏名、生年月日、電話番号等の記載欄を設けていた。

現在は、反省を生かし、住所及び地区名の記載欄を設けた様式に変更している。

除雪について

質 雪押し場として私有地をお借りしている所もあるが、利用許可は誰が毎年許可をいただくのか。

町の答 各地区の雪押し場については、町から毎年シーズン前に、区長を通じ場所の提供をお願いしている。

質 雪押し場のゴミ撤去は誰がやるのか。

町の答 除雪シーズン後、雪押し場のゴミ撤去については、町内会のご協力をいただき、実施している。

質 間口除雪の開始時間が遅いのでは。

町の答 町道除雪終了後に、間口除雪を実施している。

当日の降雪状況でも違いがあり、作業の間がどうしても遅くなる傾向にある。

間口除雪希望者が登録された時に、説明しご理解をいただいている。

質 国道、県道沿線の間口除雪はやってくれないのか。

町の答 国・県道の間口除雪は対応できていない状況にある。

質 間口除雪など、地域活動への総合交付金の増額を望む。

町の答 町としては、地域活動や要望に応じた総合交付金のメ

ニュー、交付金増額の見直しを含めて検討し、今後のご理解とご協力をお願いする。

県立河北病院について

質 河北病院の課題と赤字経営の要因は。

今後どうなるのか。

町の答 当該地域の人口減により外来患者や入院患者が減少していることが、毎年度赤字経営が続いている一番の要因である。

県ではこうした赤字を解消するため、令和元年「河北病院経営健全化計画」を策定した。

- (1)急性期の病床の縮小
- (2)回復期（地域包括ケア病棟）の増床
- (3)がん患者等の緩和ケア病棟の充実
- (4)不採算外来診療の見直し

令和2年度においては、急性期の病床縮小はあったものの、外来診療において、関係機

関のご配慮により最低限確保していただいた。今後も、「河北病院を支援する会・考える会」などに諮りながら、県に対して要望活動を実施していく。

質 寒河江市立病院との統廃合の話を断ち切るべきだ。

町の答 寒河江市立病院との統廃合に関しては、寒河江市から県に対して要望書が提出された。

西村山地域における医療と河北病院をめぐる状況について、各方面のご意見をお聞きしながら今後の対応を決めていく。

いずれにしても河北町の地域医療を守るため行動していく。



地域住民も参加して除雪作業





7月豪雨で水防団(消防団)による排水作業

高齢者福祉に CSN

質 高齢者世帯や一人暮らしが多くなり、ごみ出しが困難になる。町としての対応は。

町の答 日常生活の援助として、介護保険による認定を受けている方は、ホームヘルプサービスによりゴミ出しも可能。(ただし、掃除支援等と併用の方の

み) また、介護保険の認定を受けていない方については、町の自立生活支援事業において、65歳以上の一人暮らし、高齢者のみの世帯等を対象に、日常生活の援助を行っている。

これ以外にも、地域の方々による、互助・共助の仕組みづくりも進めている。

質 高齢者の受け入れ施設への入所が厳しい現状だ。

町の考えは。

町の答 介護保険事業対象施設を増設するには、介護事業を実施できる民間事業者の意向が必要となってくる。

運営する法人側で経営上の採算性などを考慮し検討するものだ。

町の意向だけでは増床・新設することができない。

施設を増やすことは介護保険料の負担増につながることから、慎重な対応が求められる。



北谷地構造改善センター

その他

質 かほく応援券が購入できなかった。不公平ではないのか。

町の答 この事業は、新型コロナウイルス感

染症の拡大に伴い、地域経済が危機的な状況に陥っていることから、町内の事業所で使える応援券を発行し、当該事業所を支援する目的で創設した。

第1弾の販売方法としては、1店舗1人5枚までの購入が可能だった。

第2弾の販売については、できるだけ多くの町民の方に購入いただくために、販売開始日から1か月は1人2枚までとし、その後、事業所での残枚数があれば3枚購入できる内容とした。

それでもなお、購入できなかった方がいたことは承知しているが、事業所支援としての趣旨にご理解をいただきたい。

質 道の駅の再オープンの用途は。

町の答 道の駅河北について「河北町道の駅河北検討委員会」で、外部の委員を交えて検討している。

1階は観光案内や河北町の食を中心とする産品を見られる・買える場として、3階は河北町の食材をふんだんに使用したメニューが

食べられる場として、管理運営できるかを引き続き調査・検討している。

現在は、軽食・土産品コーナーや外トイレなどはご利用いただけるが、再オープンが目途がついたら、改めて町内外の皆様にお知らせしていく。

質 中学生の通学手段として、冬期間スクールバスを導入できないのか。

町の答 中学生の通学手段として、スクールバス導入については、部活動による下校時間が定まっていることや、河北町がコンパクトな町であることなどから導入を見送っている。

また、町内全域での運行となれば、複数台のバスの購入費用や運行費用の課題もある。

質 税金など、コンビニ収納についての考えは。

町の答 町民の皆さんが納税する方法として、負担がからないのは、原則として1回の手続きで自動的に口座から引き落とされる口座振替だ。

納税方法の選択肢を増やして町民の皆さんの利便性の向上を図るという観点から、クレジット払い等も含めたコンビニ収納等の導入に向けて、検討している。

質 熊の出没報道が頻繁だ。町の猟友会も高齢化になり、会員の減少にもつながる。猟友会への補助金を含めた支援は。

町の答 町の猟友会については現在14名の会員があり、平均年齢が約65歳と高齢化が進んでいる。

今後は狩猟免許や猟銃所持許可の取得、銃器保管庫の購入等に係る経費に対して、補助事業を検討し、猟友会のPR等も必要と考え

ている。

今後も、猟友会と協議しながら新規会員確保に向け、様々な方法を模索していく。

質 吉田下交差点が大変危険で、信号機設置を要望したい。

町の答 町では、交通安全関係機関・団体と合同で、カーブミラーの新設や修繕、信号機・横断歩道の設置など検討している。

地区の要望も含め、交通安全施設の点検を行い、内容によっては警察署に対する要望活動を行っている。

信号機の設置は、道路の幅員、歩行者の安全確保、1時間当たりの自動車等の通行量など、要件を満たす場所に警察署で設置する。

吉田下交差点への信号機設置の要望は、継続して要望していく。



こんなご意見もありました①

下沢畑公民館

●紅花資料館は整備されているものの、もつと紅花にこだわる必要がある。中途半端だ。紅花水耕栽培温室周辺、八景庵へ通ずる道路拡張などの整備を要望する。

●紅の館は変化が少なく、歴史や文化を感じない。

●町道の街路樹の下の除草作業をシルバーで対応しているが、近隣住民で対応しないのか。

●役場周辺にたばこの吸い殻が落ちていたり、側溝蓋の破損箇所がある。環境整備をしてはどうか。

●豪雨災害時の避難指示について、該当しない地区はどう対応すればいいのか。

●3大都市圏以外からの協力隊移住者への住居支援がない。他市町は支援を実施している。

●谷地橋四車線化はもうなっているのか。四車線化よりも田井橋再架に全力を傾けてはどうか。

西里農村環境改善センター

●「朝鮮人」の表記について、国として、ないのではないのか。

●住宅浸水後の消毒への対応を検討すべき。伝染病が怖い。

●防災行政無線が聞き取りにくい。防災ラジカはどういった人に貸与するか。



こんなご意見もありました②

●防災ラジオの購入については見積り合わせをするのが普通。値引きなどはあるのか。希望者は買えるのか。

●子育て支援施策の18歳までの医療費無料化について、河北町は何故遅かったのか。天童市は平成29年度から、寒河江市は平成30年度から始めた。

●ふるさと納税7億円はどのように使われているのか。

●AEDを自治公民館にも設置してほしい。

●古佐川の石塚橋の落差工は土砂が堆積している。両所山口線は陥没している。(県管理も含めた要望をきちんとしてほしい)

溝延研修センター

●楨川下流への排水機場設置についてはどうなったのか。

●災害弱者への支援体制が整っていないのではないのか。

●農業関係の支援が、他自治体より少ないのではないのか。

●災害時の情報共有をスムーズに行えるようにしてほしい。

北谷地構造改善センター

●山口地区は土砂災害での避難だったが、1軒ずつ訪問し、避難行動について伝えた。

●岩木農村公園の樹木剪定や眺望の丘の雪囲いなど、維持管理するうえでの予算課題がある。

●町の予算がなければ地区での対応になるのか。

●引竜山荘跡地から眺望の丘への遊歩道及び山口弥勒寺線の道路整備を要望する。

●消雪道路の水が出ていないところがあり、消雪されていない。修繕を含めた対応は。

どんがホール

●新庁舎建設は2億円の増額と聞いている。議会はきちんと監視しているのか。仕方ないとしたのか。

●防災ラジオの数は間に合うのか。

●商業サービス業など各施設がコロナで使えない。行政はなっていない。

●防災ラジオは1万2千円。値段は適正か。

●Jアラートについて、外にいる人に伝わればいいという考えではないのか。

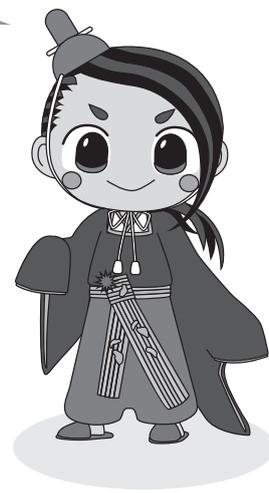
●災害弱者が出ないようすることが重要。

●豪雨災害後の住宅の消毒は個人の負担になっている。町としての対応はしたのか。

●課長会議で前向きな考えは出ないのか。コロナの資料は7月のまだ。



ご参加ありがとうございました



※漆山議長はオブザーバー

班編成	1 班	2 班	3 班
	榎 正 義 齋 藤 隆 細 矢 誓 子 阿 部 恭 平	吉 田 芳 美 木 村 章 一 岡 田 桂 司 東海林 信 弘	丹 野 貞 子 佐 藤 修 二 松 田 收 作 石 垣 光 洋

開催日	会場	班	参加人数
10月21日(水)	サハトベに花	1班	0人
	下沢畑公民館	2班	7人
	西里農村環境改善センター	3班	6人
10月22日(木)	溝延研修センター	1班	4人
	北谷地構造改善センター	2班	6人
	どんがホール	3班	5人